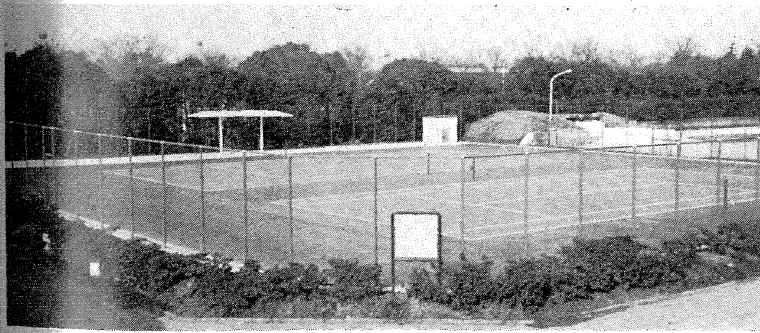
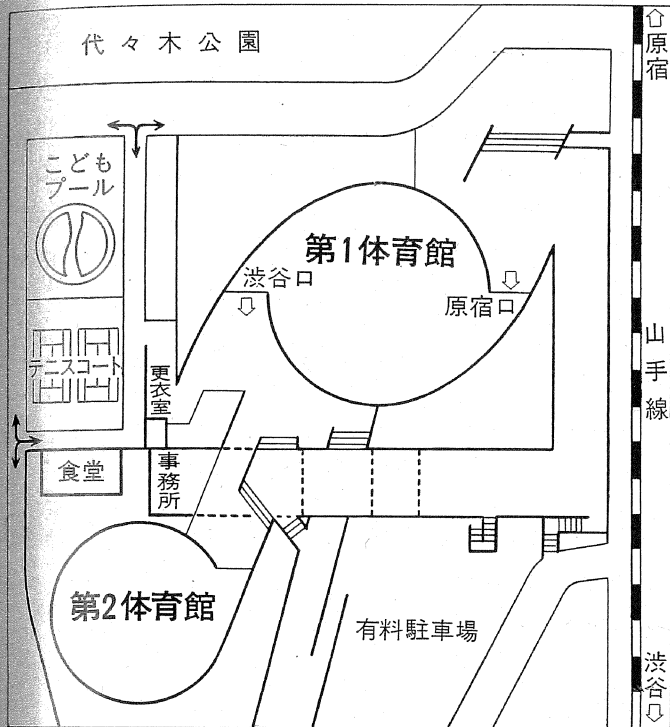


代々木競技場に テニスコート完成

第二業務部業務課



▲改装されたテニスコート

近年、プロテニス選手のメッカと化しつつある代々木競技場において一般開放用のテニスコートとして親しまれてきた屋外球技場（テニスコートとしては二面）が、この度、本格的なテニスコート仕上げとして完成、一月五日から一般公開を再開した。

ところで、この屋外球技場は、昭和39年の東京オリンピック時、バスケットボール大会会場となった代々木競技場第二体育館の練習会場として利用された場所、簡易舗装の上に板張りが為されたものの、オリンピックとその直後の身体障害者のオリンピック、パラリンピックだけの場所としての造作であったが、その後、雨ざらしのため傷みがひどくなった板張りをはずし、バスケットボール競技に限らずバレーボール、ハンドボール等にも利用され、屋外球技場の名にふさわしい利用であったが昭和52年以降は、それまでも利用

度としては一番多く利用されていたテニス専用のコートと化していた。ただ、この間も、舗装面のみは何度か手を加えてきたが、本格的なテニスコートづくりまでは為しえなかった。しかし、最近はその傷み方もひどくなり、今回、予算化されたこともあって、最新式の全天候型ソフトケミカルコート仕上げで完成した。

また同時に、従来、屋外球技場内にあったシャワー室や更衣室も今回の工事と並行して、事務所内に新設され好評を得ている。（図参照）
もう一つ、コート面も四季を問わず使用し易いように南北に長軸をとって造つてある。
総工費二、五八〇万円。施工業者は長谷川体育施設。舗装材はレジンエース。
今後は、コート周囲の樹木や植

え込み苑地の整理をして、より立派なコートとしたい。
なお、使用料は4月から改訂予定ながら、現行一面一、一〇〇円、二時間単位の貸出しは従来通り。
（谷口利文）